

課題番号 9

基本方針：Ⅱ		課題名：カキ補完品目の生産安定支援	
対象：果樹複合経営に取り組む農業者等		計画期間：R 3～R 5	
		事務所名：南部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果（計画当初→R 4年度末）	
①ウメの生産安定支援	<ul style="list-style-type: none"> 生産状況把握 現地巡回調査 選果場巡回 対策技術の現地実証 実証圃設置・調査 園主や団体との意見交換 	収量改善技術の現地実証箇所数（累計） 1カ所 → 6カ所 系統出荷量（直近3年間の平均） 831t → 744 t	
②スモモの生産安定支援	<ul style="list-style-type: none"> 現地・出荷場巡回指導 講習会での栽培指導 実証圃巡回・調査 	植栽苗木（10本）の生存率 100% → 100% 系統出荷量 2.9 t → 7.2 t	

総合評価（コメント）

A：6名

- 通年雇用者の増加のためには、農業だけでなく、それ以外の仕事との組み合わせも重要であると思われます。高取町では、「仕事コンビニ」などの事業もあります。地元自治体・周辺自治体との連携・情報共有の仕組みなども模索していただきたい。
- 将来像に向けた取り組みが期待できる。
- カキの補完作物の安定生産を行うことが出来れば、産地の将来の維持・発展にもつながると考えられるため、来年度まで続くプロジェクトの成果が更に上がることを期待します。
- 園地の条件により収量に差が生じると思いますが、柿・ウメ・スモモに適した園地で品目を分け、収入安定に繋げてほしいです。
- ウメ・スモモの生産安定支援はおおむね適切に実施されている。収穫量増加に期待している。
- 昨今の働き方改革のなかで人を雇い、生産を分散させて経営を安定させる取り組みには期待したい。

普及指導計画への反映状況等

- ウメ・スモモは、カキの補完品目として重要な品目であり、雇用確保が難しい昨今の状況の中で、経営の安定化に向けて常時雇用確保のために生産安定支援に引き続き取り組んでいきたい。
- ウメ・スモモは、生産が安定せず、年によって生産量が大きく変わる品目である。ウメについては、生産を安定させるために適正な受粉樹の選定を行う。加えて、効率的な生産のために樹の若返り（改植）を進めるために、若木の枯死対策について農業研究開発センターと協力し、原因解明と枯死対策実証圃の生育調査を引き続き行う。